

チャレンジ！！オープンガバナンス 2024 市民／学生応募用紙

自治体提示の地域課題名(注1)	No.	自治体提示の地域課題名	自治体名
		長浜での暮らしを選択する若者を増やしたい	滋賀県長浜市
チームがつけたアイデア名(公開)(注2)	長浜市の高校生、大学生が長浜に戻ってくるためにできること		

(注1)地域課題名は、COG2024 サイトの中に記載してある応募自治体提示の地域課題名を記入してください。

(注2)アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。これは自治体提示の地域課題名とは別です。

1. 応募者情報 下の欄のうち選択肢項目は右のドロップダウンで選んでください

チーム名(公開)	Yoshi!		
チーム属性(公開)	1. 市民、2. 市民／学生混成、3. 学生	ドロップダウン選択→	アイテムを選択してください。3
チームメンバー数(公開)	伏木璃朱 芝奈々星 谷口桜子 内堀菜美		
代表者(公開)	山本翔輝		
メンバー(公開)	伏木璃朱		

【注意書き】※ 必ず応募前にお読みください。

＜応募の際のファイル名と送付先＞

1. 応募の際は、ファイル名を COG2024_応募用紙_具体的チーム名_該当自治体名にして、COG2024 のウェブサイトにある【応募フォーム】からアップロードしてください。

＜応募内容の公開＞

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者および公開に同意したメンバー氏名(メンバー一覧ページを参照)、「アイデアの説明」は公開されます。
3. 公開条件について:
「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY(表示)4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC(表示—非営利)4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。
(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja> および <https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)
4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公開しません)
5. この応募内容のうち、「自治体との連携」は、非公開です。ただし、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあります。

＜知的所有権等の取扱い＞

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様をお願いします。
7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

アイデアの説明が肖像権・著作権等を侵害していないことを確認してください。OK なら右欄の○を選択 →

☐

＜チームメンバー名簿:メンバー一覧ページ＞

チームメンバーに関する情報を該当ページに記載して提出してください。(2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。)

アイデアの説明は(1)アイデアの内容(活動)、(2)アイデアの理由(なぜなら)、(3)実現までの流れ、の三項目あります。それぞれ書いてください。必要に応じて図表を入れていただいても結構です。

(1) アイデアの内容(公開)

アイデアは、対象とする課題解決のために、どのような社会的活動(サービス)を行うのかを具体的に示してください。将

2. アイデアの説明（公開）

(1) アイデアの内容（公開）

来実現した場合に、新規性があり、実践したくなり、魅力的でワクワクするようなアイデアを求めます。その結果、課題が解決され、社会に良い変化をもたらすことが期待されます。2 ページ以内でご記入ください。

※応募チームとして解決したい課題のポイントを、以下にごく短く書いてください

＜解決したい課題のポイント＞

長浜市には若者の居場所が少なく、また若者より高齢者に対しての援助や支援、まちづくりがなされているので、人口減少が起こっている今、長浜市に帰ってくる若者を増やすためにはどうすれば良いか。

※以上の課題解決のために『何』をするアイデアか、それを『だれ』が『だれ』に対して『いつ』『どこで』『どのように』行うのか、受益者自身が主体的に関わる視点も視野に入れてわかりやすく書いてください。アイデアが具体的に実行される場面を想定し、説明をお願いします。

（参考）よいアイデアを生むには関連データの分析に加えてデザイン思考によるアイデアを利用する人への共感（使う人の立場になってみること）が大切です。

＜提案するアイデアの内容＞

ポスターを作る。

虎姫高校に貼る。

ポスターの内容

今の高校生、大学生が卒業して最終的に長浜に帰ってきたいと思えるような魅力的な内容。

自分の学校に大学受験のことについて書く。

Ex) 滋賀県立大学は看護地域枠という学校推薦型選抜があり、これに合格すると滋賀県の奨学金をもらえ、卒業後 6 年以上滋賀県の医療機関に就業することで返還免除となる制度がある。この制度を生徒に知ってもらい、滋賀県立大学に入学する人が増え、長浜から出る人少なくなる。

今、長浜市が行っている改革について書く。

田村駅のすぐ近くにはバイオ大学があり若者が集う場所の一つである。そこの近くに工業団地を誘致し、人々が働ける場所を作る提案を滋賀県本部に提案。

また田村駅周辺にクラブハウスや映画館の建築を考えている。

長浜市の魅力を伝え、長浜市に居続けたい！帰ってきたい！と思ってもらう。

--

2. アイデアの説明（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

次にアイデアを提案する理由（なぜ）について、それをサポートするデータを根拠として示しつつ2ページ以内で説明してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類などの数値データやアンケート・インタビュー・経験の記述、関連の計画、既存の施策などの定性データも広く含みます。データは出所を明らかにしてください。

※このアイデアを提案する理由（なぜ）を書いていきます。

※先に書いた『何を』『だれが』『だれに対して』『いつ』『どこで』『どのように』というアイデアの内容を支えるために、『なぜ』このアイデアが有効で、実現する意味があるのかを、上記のデータを使ってわかりやすく説明します。

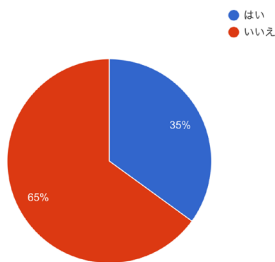
＜参考：以下のように理由を書いていきます＞

※根拠：このアイデアがなぜ必要であるか、またはなぜ有効だと考えるのか、その筋道を説明します。

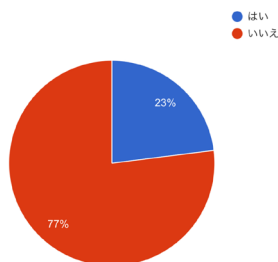
※裏付け：その根拠を支えるために、統計データや報告書、事例などを使って補強します。さらに具体的なアイデアの効果についても、何らかのデータを使うと説得力が増すでしょう。（定性データを含めて歓迎）

根拠 長浜市が人口流出を避けるため、さらに若者の居場所を増やすためにしている改革をまず知ってもらわないと長浜の魅力を伝えられないので伝えるための方法としてポスターを貼る。虎姫高校の生徒はポスターに目を向けることが多く、職員室前などに貼れば先生を呼ぶために待つ間に見たり、また教室の後ろに貼れば教室にいる人は見ることが多い。情報を知ってもらい大学を滋賀県内に決めて自分の住む場所から通ったり、大学を滋賀県内にせずとも自分の故郷に若者のための暮らしについての改革がされていることに魅力を感じる人が出てくると思う。最終的に長浜にいかどうかは自分で決めることなのでその決断を私たちがサポートする形で魅力を伝えれば良いと思う。また高校生にも自分の今の暮らしについて改善してくれそうな改革を見つけたら長浜にいて良かったと思えると思う。

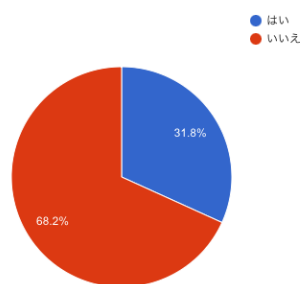
将来長浜に住みたいですか。（虎姫高校1年生）



大学へ進学後、就職先は長浜にしたいですか。（虎姫高校2年生）



大学へ進学後、就職先は長浜にしたいですか。（虎姫高校3年生）



結果からわかること

将来長浜に住みたい、就職先にしたいと思う生徒数が過半数を下回っている。

考察

長浜に住みたい、就職先にしたいと思う人がいないということは長浜の魅力を知らないのでは？

私たちが長浜の魅力についてポスターを通して伝えて長浜にいたいと思ってもらえるようにする。

(3) アイデア実現までの流れ(公開)

アイデアを**実現する主体**、アイデアの**実現に必要な資源(ヒト、モノ、カネ)**の大まかな規模とその現実的な調達方法、アイデアの**実現にいたる時間軸を含むプロセス**、実現の制度的制約がある場合にはその解決策を含め、**アイデア実現までの大まかな流れ**について、**2ページ以内**でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

※アイデアに即した実現に向けての具体的な活動を上記のポイントに即して工夫して書いていきます

＜以下のように分けて書いていきます＞

1. **実現する主体**
2. **実現に必要な資源(ヒト、モノ、カネ)**の大まかな規模とその現実的な調達方法
3. **実現にいたる時間軸を含むプロセス**

1. 私たち
2. 私たちがポスターを iPad で手書きし、それを学校で印刷する。
印刷したものを虎姫高校内の教室、廊下に貼る。
5 クラス×3 学年＋5 (枚)
3. COG へのエントリーが終わって時間ができたら作成。1 時間ほどで完成する予定。

